

JOAQUIN BERAO

Brand Profile

JOAQUIN BERAO (ホアキン・ベラオ)

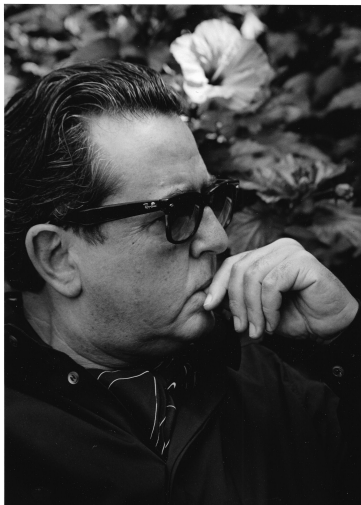
1970年、創業者 Joaquín Berao (ホアキン・ベラオ) 氏がスペイン・イビザ島にて初のコレクションを発表。その後スペイン国内を中心に活動の幅を広げ、1981年にマドリッドでブランド法人化。翌年直営店第一号をマドリッドにオープン。以来50年以上に渡りアーティストィック且つコンテンポラリーなジュエリーを生み出している。デザインから製作、最終工程の磨き仕上げまでをマドリッド自社工房で一貫して行い、熟練職人の手によるミラーフィニッシュ（鏡面仕上）の美しさにも定評がある。

日本では1990年から2014年まで展開。4年のブランクを経て、2018年春より再上陸。2022年、パンデミックの影響で2年遅れとなったデザイナーのキャリア50周年の節目に LINEA（リネア）コレクションを発表。併せて記念イベントを ISETAN SALONE（東京・六本木）で開催、好評を博しました。2026年には、敬愛するイサム・ノグチにオマージュを捧げた ISAMU（イサム）コレクションを発表。

そのジュエリーは、ペドロ・アルモドバル監督の『ルーム・ネクスト・ドア』をはじめ日本のTVドラマ等にも登場。著名人にも愛用者が多く、独創的なデザインと時代に左右されない存在感やエレガンスで、幅広い人々を魅了し続けている。



Designer's Biography



Joaquín Berao (ホアキン・ベラオ)

1945年 スペイン・マドリッド生まれ。

15歳で叔父の運営する宝飾工房に入り、スペインの伝統的な制作技法や知識を徹底的に学ぶ。この時身につけた基礎が、現在の JOAQUIN BERAO ブランドにおけるデザインの独創性と高品質を保証する信頼性を両立させている。

1970年、スペイン・イビザ島にて自身の初コレクション発表。その後ニューヨークの老舗百貨店、bloomingdale's（ブルーミングデールズ）にて展示販売を行う機会に恵まれ、それが後のホアキンの運命を決定づけるものとなる。

1972年、マドリッドの Galeria Serie が、Elsa Peretti や著名彫刻家の Javier Corberó などと共にホアキンの作品を取り上げジュエリー合同展を開催。その後 80年代初頭にかけて、カナリア諸島の La Sala Conca（スペイン）、Galerie Nouvelles Images（オランダ・ハーグ）、The Museum of Modern Art in Zurich / チューリッヒ美術館（スイス・チューリッヒ）等ヨーロッパ各地で作品を発表しキャリアを不動のものとしていく。

2013年、日本スペイン交流 400周年事業における皇太子殿下（当時）スペイン訪問の際、日本との長年にわたる良好なビジネス関係構築の功労者としてスペイン王室より晩餐会に招待される。その後2018年10月、26回目の日本来日を果たす。2022年、キャリア50周年を記念するコレクション、LINEA（リネア）を発表。2025年にはスペインの建築家、ガウディにインスパイアされたコレクション、GAUDI を発表。そして2026年、長年多大な影響を受けてきた彫刻家、イサム・ノグチにオマージュを捧げた ISAMU コレクションを発表。

Simplicity is Complexity Resolved. - シンプルさは複雑さを解決するものである。

彫刻家、ブランクーシの言葉を座右の銘とするホアキン。自然を偉大な使徒仰ぎ徹底的に観察して生まれる作品は本質に迫りオリジナリティに溢れている。

「オリジナリティとは起源への回帰にあり、最初の解決策のシンプルさに戻ることなのだ。」と、ホアキン自身そう語っている。

